

令和 7 (2025) 年度

近畿大学

法学部

附属高等学校スポーツ・文化活動推薦入学試験 (B推薦)

小論文

【問題】

次のⅠ及びⅡの文章を読み、また、Ⅲ（参考資料）を参照し、[問 1] 及び[問 2]に解答してください。

[問 1] スポーツの有するどのような特性が、持続可能な開発に役立つと考えられるのでしょうか。あなたの考えを 500 字以内で述べてください。

[問 2] スポーツを通じた SDGs 活動に関するあなた自身の取組みや考えを 500 字以内で述べてください。

Ⅰ

※著作権処理が済んでおりませんので、
非公開とします。

※著作権処理が済んでおりませんので、
非公開とします。

(出典:日本経済新聞 2024年1月1日朝刊)

II

SPORTS SDGsとは

私たちが考える SPORTS SDGs とは、スポーツが本来持っているチカラを活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくという事。スポーツを通じたコミュニケーションによって課題を共有し、解決に向けて主体的に行動する人々を一人でも多く創り出すことで、よりよい社会を目指していく事です。具体的には SDGs が掲げる 17 の開発項目に対して、スポーツを解決ツールとした具体的な活動を行う事、そしてそれを世の中に広めていく事です。スポーツ界において SDGs 活動に関心の高いアスリートと共に、いくつかのプロジェクトを起し、彼らのファンも巻き込んでより大きな発信を行っていきます。

こうした活動は国連においても注目されており、持続可能な開発のための 2030 年アジェンダに向けた宣言の中でもその有効性を認め、「スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。我々は、スポーツが寛容性と尊厳を促進することによる、開発および平和への寄与、また、健康、教育、社会包摂的目標への貢献と同様、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することを認識する。」と位置付けています。

(出典:一般社団法人日本スポーツ SDGs 協会 HP:

<https://www.jssdgs.org/#about> [2024年7月13日]確認))

III (参考資料)

持続可能な開発目標SDGsとは

持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals) とは、2001 年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGs は発展途上国の

みならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



(出典:外務省HP及び外務省作成の基礎資料より一部抜粋)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

[2024年7月13日]確認

令和7年度法学部附属高等学校スポーツ推薦入学試験（B推薦）「小論文」解答例

[問題]

次のⅠ及びⅡの文章を読み、また、Ⅲ（参考資料）を参照し、[問1]及び[問2]に解答してください。

[問1] スポーツの有するどのような特性が、持続可能な開発に役立つと考えられるのでしょうか。あなたの考えを500字以内で述べてください。

スポーツの特性にどのようなものがあるか、また、その特性が持続可能な開発にどのように役立つと考えられるか、論じてもらう問題です。たとえば、スポーツには人を動かす力があるとか、スポーツには、人々をつなぐ力があるといった特性を説明し、それが具体的にSDGsの目標達成にどのように関わるかについて自分の考えを示してもらうことが考えられます。

[問2] スポーツを通じたSDGs活動に関するあなた自身の取り組みや考えを500字以内で述べてください。

受験生自身の経験や取り組みを示してもらう問題です。受験生の取り組んでいるスポーツや考え方によって、解答としては、いろいろな考えがありうるようになります。

小論文試験では、入学後に大学で学ぶために求められる実力を備えているか、すなわち、論理性や説得性のある文章を作成できるか、自分自身の経験や考えを適切に表現し、限られた文字数において表現することができるかといった点を確認するために出題しました。

合否判定の方法および基準

(令和7年度法学部附属高等学校スポーツ推薦入学試験 (B 推薦))

1. 合否判定の方法

書類審査、小論文 (100 点満点)、口頭試問 (A、B、C、D 評価)

2. 合否判定の基準

書類審査、小論文 (60 点以上)、口頭試問 (C 評価以上) の総合評価